

第1回基礎法学総合シンポジウム
「法的制度としての私と公をめぐって」の開催

1 主 催 日本学術会議法学委員会、基礎法学系学会連合（暫定名称）（日本法社会
学会、日本法哲学会、比較法学会、法制史学会、比較家族史学会、民主主
義科学者協会法律部会）

2 日 時 2007年3月3日（土）13：00～17：00

3 会 場 日本学術会議講堂

4 プログラム

開会のあいさつ

淡路剛久（立教大学教授、日本学術会議第一部会員、同法学委員会委員長）

趣旨説明

嶋津 格（千葉大学教授、日本法哲学会理事長、日本学術会議連携会員）

報 告

1. 「『公・私』区分の多義性：公共性論の整理のために」

森村進（一橋大学教授、日本学術会議連携会員）

2. 「中国近代における『私』の『法』制度化と『民』の『公』化」

高見澤磨（東京大学教授）

3. 「私が公を創る作法ーアメリカ法の公益信託の役割」

藤倉皓一郎（同志社大学教授）

4. 「＜心理学化される現実＞と法の公共性」

佐藤岩夫（東京大学教授）

コメント

1. 吉田克己（北海道大学教授、日本学術会議連携会員）

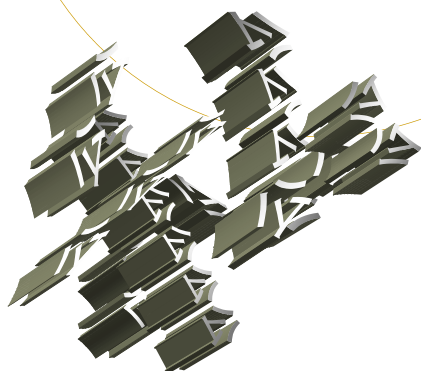
2. 阪口正二郎（一橋大学教授、日本学術会議連携会員）

討 論

閉会のあいさつ

水林 彪（一橋大学教授、法制史学会代表理事、日本学術会議連携会員）

法的制度としての 私と公をめぐって



趣旨説明

1. 嶋津格(千葉大学教授、日本学術会議連携会員)

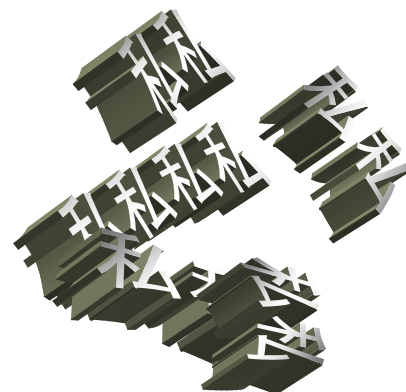
報告

1. 「『公・私』区分の多義性：公共性論の整理のために」
森村進(一橋大学教授、日本学術会議連携会員)
2. 「中国近代における『私』の『法』制度化と『民』の『公』化」
高見澤磨(東京大学教授)
3. 「私が公を創る作法 - アメリカ法の公益信託の役割」
藤倉皓一郎(同志社大学教授)
4. 「＜心理学化される現実＞と法の公共性」
佐藤岩夫(東京大学教授)

コメント

1. 吉田克己(北海道大学教授、日本学術会議連携会員)
2. 阪口正二郎(一橋大学教授、日本学術会議連携会員)

討論



2007年3月3日
午後1時 - 5時
日本学術会議講堂
(地下鉄千代田線乃木坂駅前)



主催

- ・基礎法学系学会連合
(日本法社会学会、日本法哲学会、比較法学会、法制史学会、比較家族史学会、民主主義科学者協会法律部会)
- ・日本学術会議法学委員会

連絡先

- ・日本学術会議事務局・第1部担当
松本・河野
TEL 03-3403-5706、FAX 03-3403-1640
Email: s251@scj.go.jp